

# 大学の将来について

サピエンチア会（聖トマス大学同窓会）  
会長 藤本 滝三

卒業生の皆様方におかれましては、昨年 6 月の募集停止の発表後、母校の行末をたいへん心配されておられたことと存じます。本年 11 月 3 日の同窓会総会後のライアン学長のご説明で、大学の将来について交渉が継続中であることをお聞きいたしました。しかし交渉相手や内容につきましては、その交渉に悪影響を与える恐れがある為に、詳しくお聞かせ頂けませんでした。

その後、11 月 23 日にライアン学長から同窓会役員に対して、今までより一歩踏み込んだご報告がございましたので、同窓会会員の皆様にも取り急ぎご報告をさせていただきます。

## ライアン学長のご報告内容概略

1、2010 年 11 月 8 日の臨時理事会において、新理事長が選出、承認されました。

新理事長：スティーブン・リン（Steven Lin）氏

2、交渉の前提条件

- 在校生が卒業、或は学生が希望する他大学に編入が完了するまで、卒業や資格取得に必要な教育を保証すること
- 当校の学籍簿の保管すること
- 現同窓会をそのまま引き受けること

3、新理事長が代表するグループは

世界 24 カ国にて 50 以上の大学・教育機関の経営・運営を支援するグローバルな教育ネットワークです。全世界で 60 万人以上の学生が、同ネットワークの最先端の教育プログラムで教育を受けています。

4、今後の予定・計画

- 現学生への最適な教育とカリキュラム、及び海外での学習機会の提供を進めていく。

- 新たなリーダーシップの下、新たな学部の新設を文部科学省へ申請する。(2012年春の新入生受け入れを目標とする)

.....

以上が学長からのご説明の概略です。

これで英知学院聖トマス大学は継続の第一歩を踏み出しました。しかし、これからも大学復興の道のりには厳しいものが有ります。経営、社会ニーズの変化、マーケティング等に対して的確な判断がなされることがたいへん重要であると思います。

サピエンチア会といたしましては、大学の成功を祈りつつ、今後の成り行きに注視し、計画通りに事が進んでいるのかを見守り、母校の発展に協力していく所存です。

皆様方には、進展具合を出来るだけまめにお知らせしたいと思っておりますが、ご連絡手段は限られております。今後も同窓会のホームページをご注視頂けますようお願い申し上げます。